

2024年4月26日

Activity Report

活動報告

盛岡市地域おこし協力隊
杉田 有衣

所属：商工労働部経済企画課
委託先：盛岡まちづくり株式会社

- 01 活動テーマ
- 02 活動の概要
- 03 具体的な活動内容
- 04 活動の軸
- 05 新規プロジェクト
- 06 新規事業計画

まちなかの賑わい創出による 中心市街地活性化

課題

人口減少、少子高齢化、郊外型大規模小売店の進出などにより、中心市街地の賑わいが失われつつある。

目的

新たな魅力づくりや効果的な情報発信などを行い、賑わいの創出を図る。

目標

中心市街地の活性化に資する事業の計画実施、収益事業の確立。



商店街が行う取組の支援

商店街が企画するイベントの運営サポートなど



盛岡まちづくり株式会社が行う事業のサポート

通行量調査、人流分析システム、商談会、MORIO Pay事業の運営サポートなど



その他（自主企画・任期終了後の定着に向けた取組等）

イベント開催、雑誌制作、新規事業の立ち上げなど

具体的な活動内容

✓ 商店街が行う取組の支援



2023年7月23日(日)
大通商店街・大通パラダイス
ゆかたのまち盛岡PR活動



2023年10月21日(土)
盛岡駅前商店街・もりおか駅前開運ホコテン
映画鑑賞推進連携事業、当日運営サポート

具体的な活動内容

✓ 盛岡まちづくり株式会社が行う事業のサポート



人流分析システム関連業務
中心市街地の13ヶ所にカメラを設置。
AIによる人流分析を実施。



2024年2月8日(木)・9日(金)
工房見学会
県内外のバイヤーに盛岡市内の工房を案内。

具体的な活動内容

✓ その他（自主企画・任期終了後の定着に向けた取組等）

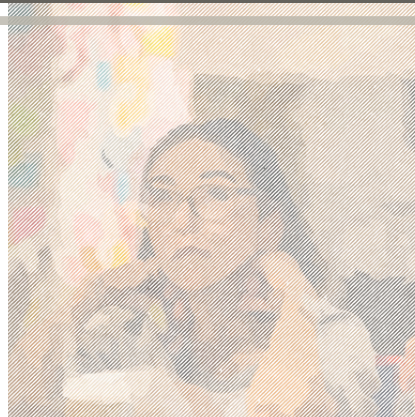
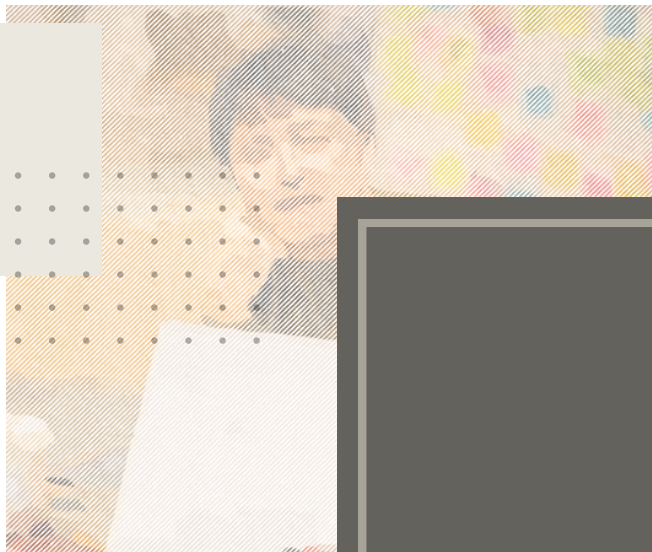


2023年11月3日(金)文化の日
第1回『ヨソモノカイギ』開催。
盛岡に文化はあるのか？というテーマで議論。



shop&gallery SUNABA『鉄瓶×アロマ』
個別相談&ワークショップなど開催。

対 話





対話とは

さまざまな視点を持つ圧倒的他者と遭遇すること。そのなかで自己と出会うこと。あらゆる物事とアナログ思考でつながっていくこと。

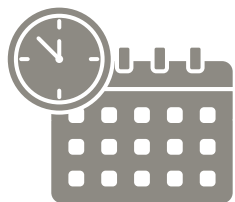
- ✓ 時間がかかる
- ✓ 結論が出るとは限らない
- ✓ 人の複雑さに触れる営み



対話を通して

面倒で不確かで複雑なことに耐える力が養われる。一人では抱えきれないどうしようもない問題と向き合い続けることができる。

- ✓ 急がない
- ✓ 判断しない
- ✓ 複雑さに耐える



時間

業務時間に柔軟性があり、自立に向けたスキルを身につける時間がありました。



空間

シェアオフィスToastを拠点とすることで、創造性を養うことができる空間がありました。



出会い

多様な世代、性別、職業の方々との出会い、対話に応じてくれるの方々との出会いがありました。



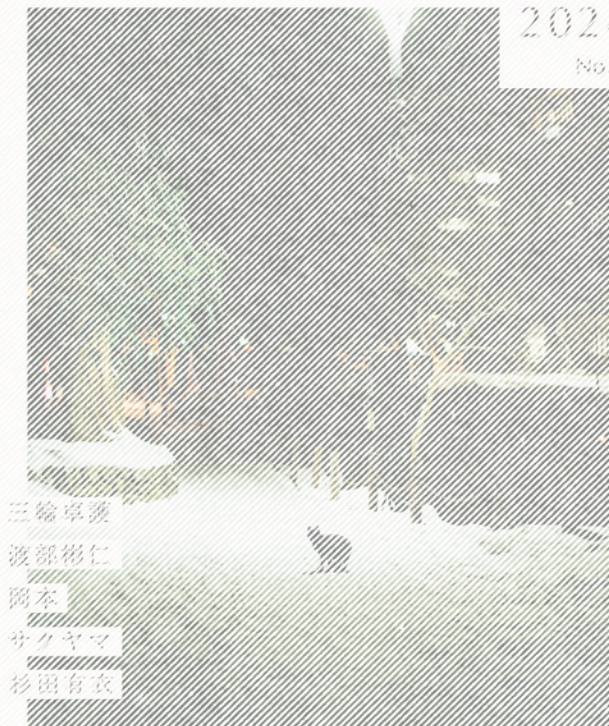
YOSOMONO

客観的視点を持ちながら、
あらゆる物事の境界を越え、自由に行き来する。
常に変化し、変容することを認め合いながら、
立ち止まることをおそれず思考し続ける。
その時、その場所で、偶然に出会った友人たちと
実験的創作活動を行う。

新規プロジェクト

ÉTRANGER

2024
No. 1



エトランジェ ÉTRANGER

「ÉTRANGER／よそもの」とは、どこかに所属していながら、どこにも所属していないような感覚を持ち続ける存在。

旅の過程の記録であり、時間をかけて思考することを肯定し、複雑で限定された「他者との出会い」を創出する雑誌。

新たな対話をうみだすきっかけとなるよう願いを込めて制作。

現代社会

- 効率が求められる
- 結論を求められる
- シンプルさを求められる



私が大切にしたいこと

- ゆっくり進める力
- 結論を保留する力
- 複雑さを受け入れる力

ハーバリストとして

『植物を忘れない思想』を軸に、植物療法の実践とサポートを行う。



植物療法とは

- ゆっくり時間をかけて自然治癒力を高める
- 植物の持つ多様な成分を理解し活用する
- 心の病や緩和ケア、予防としても役立てられる

風土舎 FŪDOSHA

自分のため、身近にいる大切な人のために行う植物療法の実践方法と、セルフケアの認知と普及をめざし活動しています。盛岡という風土のなかで、ほんとひと息つける、ちいさな木陰のような空間をつくれるよう準備中です。



おわりに

盛岡のまちには、ゆっくり流れていく時間と変化しながらも残されていく空間と、客観的で多様性のある人々の視線が内包されていると感じています。そしてそこに盛岡の魅力があるのではないかと思います。

さまざまな出来事が立て続けに起こるこの社会で、発語すること、対話することを諦めず、常に思考し続けながら、盛岡のまちを見つめていきたいと思っています。

杉田 有衣

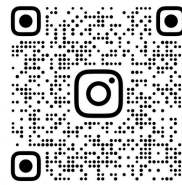
THANK YOU

ありがとうございました

YUI SUGITA

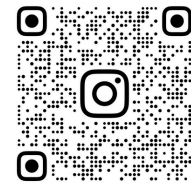


YOSOMONO



YOSOMONO_MORIOKA

FŪDOSHA



FUDOSHA_NOTE